

質問11 東京パラリンピック等障害者スポーツ分野での協会の取り組みについて

(該当箇所:p.14 報告事項>平成 28 年度事業計画>平成 28 年度重点活動項目>作業療法の普及と振興に関する取り組み)

2020 東京パラリンピックに向けてボランティアなどの支援やパラリンピックを契機に障害者スポーツ分野での作業療法の普及振興に対して重点的に取り組む必要があると思うが、協会の取り組みについて教えて欲しい。

回答

障害者スポーツ分野に対する協会の取り組みについてご質問いただき、ありがとうございます。スポーツは、それが対象者の生活行為の一部を形成しているという意味で、対象者によっては作業療法による支援の重要な一側面をなすと認識しています。2020 年の東京パラリンピックへの対応としては、協会は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議の顧問の一員に名を連ねていますので、すでに数度にわたり大会準備運営局にコンタクトをとり、またパラリンピック統括課長とも直接面談を行って、大会成功に向けて貢献する準備があることを繰り返しお伝えしています。協会としては、競技そのものの支援だけでなく、障害者対応のまちづくり、移動の支援、健康管理の支援等々の後方支援においても貢献できるイメージをもっており、その旨ご案内もしていますが、組織委員会からの具体的な依頼や要望はまだいただけていないのが実情です。なお、本件については理事会でも数回話題に上がり、担当部署の設置など検討を進めているところです。今後、組織委員会の要望にも応じながら必要な体制を整えていく所存です。